

## 中村城（馬陵城）跡

慶長十六年（一六一一）相馬藩主十七代利胤が居城にして以来、中村城は、六万石の城として二六〇年間続きました。馬陵城ともいわれる平山城ですが、天守閣は寛文十年（一六七〇）に落雷で焼失しましたが、大手門と石垣、水堀、土塁が残っています。



## 中村神社

相馬家代々の氏神として崇敬されてきた中村神社は、中村城郭内の西方にある小高い丘に建っています。寛永二十年（一六四三）十八代義胤によって建立され、流造りによる桃山様式の本殿・幣殿・拝殿は、国の重要文化財に指定されています。



## 相馬神社

相馬氏の祖師常を祭る神社として明治十三年、中村城の本丸跡に創建されました。「鎌倉四天王」の一人に数えられていた師常は、源頼朝の平泉攻めに出陣し、その恩賞として当地を加増されました。境内には、樹齢数百年を数える藤があり、花季には参拝客の目を楽させています。

## 涼ヶ岡八幡神社

もとの名を八正宮といい、南北朝時代に創建されました。現在の建物は、元禄八年（一六九五）二十一代昌胤が建立したものです。県指定の文化財になっている総檜造りの本殿・幣殿・拝殿のほか、神路橋・随神門・大鳥居や推定樹齢七百年の夫婦杉などがあります。

